

誰もが住み慣れた地域で暮らすことを支援する医療と介護をめざして

# 地域包括ケア研究会 長野実践視察ツアー

「社会保障と税の一体改革」により、2025年に向けた医療・介護政策シナリオが明らかになっています。キーワードは「施設から地域へ、医療から介護へ」です。改革内容は、国民に負担を強いる増税をはじめとする改革とあわせ、社会保障の機能強化・重点化・効率化の推進、社会保障の充実と費用抑制を進める厳しいものが予想され、2018年の医療、介護の同時改正は、このシナリオを大胆に押し進める内容になると思われます。

私たち医療・介護従事者は、これらの制度動向を踏まえながらも地域住民の誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らし、人間らしい暮らしの実現を支援することを使命としています。このグランドデザインが地域包括ケアシステム(医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制)の構築にあり、医療と介護の連携がカギとなることは言をまたないでしょう。そこで、私たちは、東三河に地域包括ケアシステムを構築することを目的に、国の動向、先進事例、様々な技法等を学ぶ民間の研究会を立ち上げています。今回、指導にあたる竹重俊文先生の実践事例と長野県上田市、東御市に学ぶ「長野実践視察ツアー」を企画致しました。

つきましては、お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。



2017年4月1日 地域包括ケア研究会 代表世話人 加藤政実  
(NPO法人たすけあい三河代表)

## 《長野実践視察ツアー》

日時／2017年7月16日(日)～17日(月)

コース／裏面参照

目的／竹重俊文氏が実践される地域包括システムの  
先進事例を学ぶ

参加費／19,000円/名(研修費、交通費含む)

※サロン宿泊(ホテル利用は別途とします)

定員／15人※申込先着 申込／申込書をFAX ※裏面申込書をご利用下さい

振込先／豊橋信用金庫 向山支店 普通 0193013

特定非営利活動法人たすけあい三河

問合先／地域包括ケア研究会事務局 (NPO法人たすけあい三河)

TEL:0532-52-4315 FAX:0532-56-0702

E-mail:info@wacnet.jp



【コース】 集合:JR豊橋駅西口付近(新幹線側)

◆7月16日(日)

豊橋＝豊田＝岡谷＝東部湯の丸IC＝東御市(昼食)

8:00 12:00

＝竹重俊文氏による佐久市医療法人・地域包括ケアの事例施設・事業所見学＝東御市八重原サロン(泊)  
17:00

◆7月17日(月)

東御市＝竹重俊文氏の事務所兼八重原サロンでの研修＝乙女平のNPOの活動視察

9:00 13:00

＝東部湯の丸IC＝岡谷＝豊田＝豊橋  
15:00 20:00

1998年から長野県佐久市を中心に拠点病院・施設より半径5km(従来は20km)の地域で包括的な事業展開へ



7月16日視察  
1998年から長野県佐久市での地域包括ケアの実践  
半径20Kの支援から半径5K(24時間365日)の支援体制へ



共生型  
2002年から高齢者・障害者・児、幼児も同じ場所で預かる共生型サービス



7月17日午前 寺子屋  
2012年から民家利用の寺子屋とサロン。経営者・幹部・管理者の学びの場所



7月17日午後NPO法人の活動  
0歳から2歳までのこども園  
24時間体制で預かる

(講師プロフィール) 竹重俊文氏

- ・一般社団法人 地域ケア総合研究所 所長
- ・NPO法人おもいやり乙女平 理事
- ・地方行政で24年間、1995年全国初の全室個室ユニットの特養開設、1998年から長野県佐久市の医療法人において長期入院・入所の方を街中に住まいを造り、在宅医療と介護で支える地域包括ケアの先進事例を実践。  
2010年中立公正な一般社団法人地域ケア総合研究所を設立、長野県・富山県の介護支援計画等策定委員歴任。

地域包括ケア研究会長野実践視察ツアー【参加申込書】

フリガナ		ご住所	〒
名前	男・女		
ご職業		お電話	
通信欄			

FAX → 0532-56-0702 ※申込先着順

お問合せ／地域包括ケア研究会事務局(NPO法人たすけあい三河)

〒440-0823 豊橋市南瓦町14-1WACビル2F TEL:0532-52-4315 E-mail:info@wacnet.jp